

〈芸術〉



音楽科



图画工作科

美術科



家庭科

技術・家庭科



芸術系教科実践事例集

1 芸術系教科における深い学び

【音楽科】

音や音楽と出会う場面を大切にし、主体的・協働的に学習に取り組み、表現したり、他者と共有共感したりする学び

【図画工作科／美術科】

主体的に学ぶ意欲を高め、表現の能力と鑑賞の能力を、相互に関連して働くようとする学び

【家庭科／技術・家庭科】

生活の中から問題を見出して、課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したり、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を身に付ける学び

2 「深い学び」を目指すためのポイント

① 子供が思考できる教科の教材化、発問

基礎的・基本的な知識を着実に習得しながら、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会におけるさまざまな場面で活用できる概念としていくことが大切である。

また、それには「本質的な問い合わせ」の設定が重要である。一問一答で答えられるものではなく、題材全体に関わる「概念的な問い合わせ」や、教科の「見方・考え方」を働かせた教科の本質に関わる「問い合わせ」により、子供たちが「素朴な理解」から、教科の本質に関わる「洗練された理解」に到達したとすれば、それは「深い学び」の実現だといえる。

② 目指す児童・生徒の姿

- ・表現に必要な技能を身に付けている児童・生徒
- ・人やものと関わりながら、自分らしく創意工夫して表現する児童・生徒

3 深い学びを実現するための学習の流れと I C T 活用例

○著名な作家の作品の歴史や背景を調べたり、題材のアイディアスケッチの参考資料とするためにデジタルコンテンツを活用したりする。

○児童・生徒や著名な作家の作品の鑑賞活動において、作品や空間を共有するために書画カメラやプレゼンテーションソフトを活用する。

○創作活動や、作品の感想や意見を共有する鑑賞活動においてロイロノートを活用する。

○風景写真や教材となるものを撮影し、資料するためにタブレット PC を活用する。

○課題や作業手順を視覚化し提示するためには書画カメラを活用する。

○プログラミング学習を実践する。



第5学年 家庭科学習指導案

1 題材名

「寒い季節を快適に」

2 題材計画

時間	1	2	3	4(本時)
ねらい	寒い季節の衣服の着方や住まい方がわかり、快適に生活しようとするようとする			
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ○寒い季節の暮らし方について、自分たちの生活を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○寒い季節の暮らし方についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの衣服の種類について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服を組み合わせ、コーディネートする。
ICT	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料配布・提示・共有(ロイロノート)  

3 本時(4時間扱いの4時間目)

(1)ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	課題を発見する	既習の知識・技能を活用する	既習の知識・技能を活用する	
タブレット PC				

(2)展開

学習活動・内容	・指導のポイント ★評価
1 本時の課題を確認する。 ・前時の学習の振り返り	・衣服がもつ働きについて振り返る。 寒い季節のコーディネートを考えよう。
2 寒い季節の衣服をコーディネートする。 ・寒い季節に衣服について自分が気にしていることを書き出す。 ・寒い日の衣服のコーディネートを考え、その理由を書く。 ・班で発表し合う。	・タブレットPC内の画像を組み合わせて、重ね着、衣服の形等に加え、自分の普段の生活に合った衣服が選べるようにする。 ・時間がある場合は服の色や柄を塗ってもよい。 ・1人1分で組み合わせ・理由を発表させる。 ・暑い季節と寒い季節の衣服の特徴を比較する。 ＜問い合わせ＞ ★あたたかく過ごすための着方を考えたり工夫したりして、目的に合う着方をすることができている。
3 寒い季節の衣服の特徴をまとめること。 ・自分たちで考えたコーディネートから、衣服の形、布の特徴、着方の三観点で寒い季節の着方をまとめること。	
4 本時の学習を振り返る。 ・学習シートに本日のまとめを記入する。	

第8学年 技術科学習指導案

1 題材名

生物の育成計画と記録～ミニトマト栽培記録のまとめ～

2 学習計画

時	1	2～15	16・17（本時）
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○生物育成に関する技術が、わたしたちの生活に果たす役割について関心をもつことができるようとする。 ○作物の生育に適した条件や管理技術を理解し地域環境や作物の特性を考慮して栽培ができるようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○生物育成のリサイクルを知り、その育成に見通しをもつことができるよう記録を取りまとめる。
学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○生物育成に関する技術が、生活の様々な場面で利用されていくことや、野菜、肉類、米など食材の安定供給につながっていることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○育てる作物の時期が適切かを確かめさせる。 ○ミニトマトに適する育成環境と学校の育成環境を比較して、栽培に適した場所を考える。 ○ミニトマトを収穫するには、どのような管理作業が必要か考える。 ○収穫物を利用する時期を考慮して収穫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニトマトの種から収穫までのサイクルを把握する。 ○生物の生きる営みを利用した持続可能なサイクルになっていることに気付く。
I C T	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラ ・デジタルカメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンソフト ・文書作成ソフト ・図形ソフト  

3 本時（17時間扱いの17時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ	既習の知識・技能を活用する 何度も試行する	互いの考えを比較する	振り返って次へつなげる
タブレット P C		 		

(2) 展開

	学習内容・活動	・指導上のポイント ★評価
導入	○課題を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット P C を準備させる。 ・前回、行った作業の確認をする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニトマト栽培記録をまとめること。 ・作業内容、観察の入力をさせる。 ・カメラで撮った画像を編集し、記録に張り付けさせる。 ・栽培実習の感想をまとめ、入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のフォルダを開き、保存してある文書ファイルを開かせる。 ・記録用ファイルに文字を入力し、フォント等の設定を行わせる。 ・トリミング等編集した画像を記録用のファイルに貼り付けさせる。 <p>※文字と画像のレイアウトを整えさせる。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめた栽培記録を提示する。 ・完成した記録を選び、提示する。 	<p>★自らの課題を設定し、何人かの栽培記録を見ることで、自分の記録と比較させ、工夫しようとしている。</p>